

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第 38 号

超高齢社会に対応し、安心を届けられる モデルを造り、それを支える人材を育成する

地域医療患者支援センター・がん相談支援センター長 廣川 誠



地域医療患者支援センター・がん相談支援センター長を今年度拝命いたしました。どうぞよろしく願いいたします。「相談支援センター」という部署名のときに私も活動に参加しておりましたが、その頃と比較しますと退院支援数も右肩上がりになっており、疾病構造とさまざまな環境要因の大きな変化がその背景にあることが伺えます。

日本の高齢化率（65 歳以上人口の割合）は平成 27 年 10 月 1 日現在 26.7%ですが、秋田県は平成 26 年時点で 32.6%と日本一であり、平成 52 年には 43.8%にまで上昇すると予測されています。このような過酷とも言える状況にあっても、当センターは疾病を抱えた患者とその家族の社会的苦痛の軽減に役立つモデルを造り、それを支える人材育成システムを構築することによって「地域の保健・福祉に積極的に関与する」という当院のミッションに貢献していくことが求められていると思います。

勤労世代にあるがん患者の仕事と経済的な問題

は大きな社会的苦痛を生じる重要な原因であり、就労支援はがん対策推進基本計画の重点課題のひとつとなっています。当センターは他県と較べてより先駆的な取り組みを行っており、その成果が得られつつあります。このような成功事例を発信しながら学内外の良い智恵も取り入れていくことが安心を届けられるモデル造りに役立つと思います。

10 年後に必要とされる当センターはどのようなものでしょうか？超高齢社会に適応した持続可能な医療サービスモデルを造るには学内外の健康・福祉に係る人々の共同作業と市民のコンセンサス形成が必要であり、そのハブとなるのが当センターではないかと思えます。それに備えて、医学、保健学、人文・社会学を統合し実践できる医療人の育成を目指したいと思います。私たちはいつでも皆さんからのフィードバックを歓迎しています。

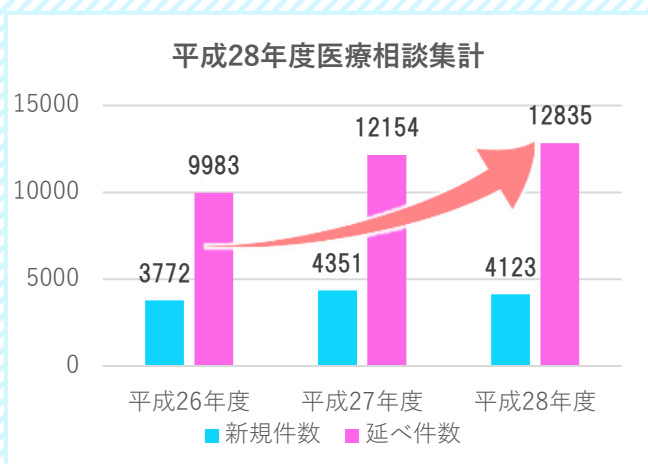
平成 28 年度医療相談集計

新規件数 4,123 件、延べ件数 12,835 件と、昨年度と比較して延べ件数が 681 件増加しました。

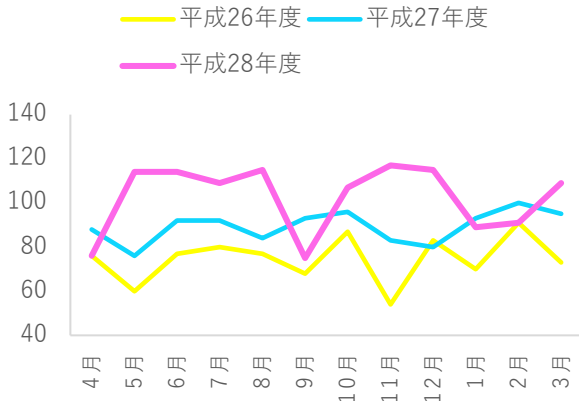
病名別では、がん・精神・心疾患の順でした。

対応手段は、電話と面接によるもので 84%を占めておりました。相談内容では、関係機関との連絡調整・退院支援・福祉の順であり、病棟介入の機会増加に伴い、福祉・医療費・経済問題についての相談が昨年に比べ増加しました。がん医療相談件数は 3,643 件であり、昨年度と比較して大幅に増加しました。

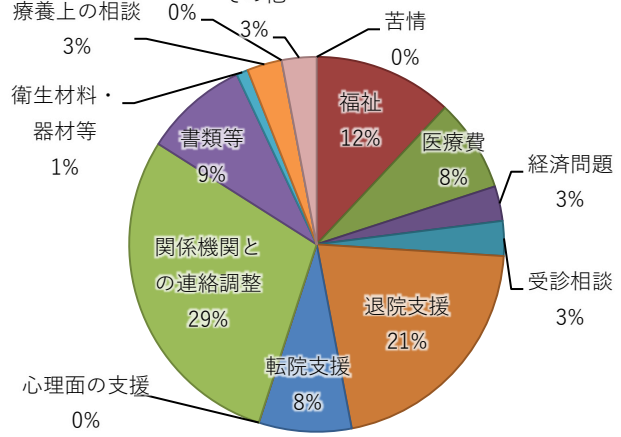
→裏面へ続く(グラフのみ)



がん医療相談 新規件数推移



平成28年度相談内容内訳



平成29年度地域医療患者支援センター・がん相談支援センター

<今年度の活動目標>

1. 「見える化」活動を展開し、連携業務を強化する
2. がん相談・支援の充実を図る

<センター担当者>

センター長：廣川 誠
 副センター長：安藤秀明、神林 崇、秋山みどり
 担当者：蓮沼直子、大塚悦子、坂谷慶子
 看護師（6名）：田口弘美、熊澤祐子、堀川 愛、
 目黒真澄、佐藤京子、藤原美那子
 MSW（5名）：小川江美、金子幸太、高山祐子、
 滝口 萌、杉澤 幸
 事務補佐員：内田隆子、ニチイ学館：福井寛子
 医療サービス室：小林一俊、吹谷美穂、
 大川真之介、河本聖也

<病棟担当表>

- ※ 看護師とMSWがペアで病棟を担当します。
- ※ 看護師は、医療・看護・衛生材料等を主に担当します。
- ※ MSWは 福祉・医療費・経済問題等を主に担当します。
- ※ 退院支援・転院支援は、お互いに協力して担当・支援します。

		看護師	MSW
1-1	放射線 歯口外	堀川/田口	杉澤
1-4	脳神外 皮膚科	熊澤	金子
1-5	小児科	目黒	滝口/小川
1-6	消化外 食道外	熊澤/秋山	高山
1-7	呼吸外 乳甲外 眼科	京子	杉澤
1-8	整形外 神経内	熊澤/藤原	杉澤
2-2	泌尿器 糖尿内	京子	滝口
2-3	精神科	藤原	金子
2-4	循環器 心血外	目黒	金子
2-5	産科 婦人科	堀川	小川
2-6	胃腸食 胆肝脾 腫瘍内	目黒/田口	高山
2-7	呼吸器 耳鼻科	堀川	滝口
2-8	血液内 腎リウマチ	京子	小川
ICU1.2		※ 当該診療科担当者	
外来		※ 随時対応 ※ 外来→入院：ケースに応じて担当者を決定	

※ 救急外来担当

曜日	月	火	水	木	金
MSW	金子	滝口	杉澤	高山	小川

この4月から配属となり、日々、センターの役割の奥深さを感じております。
 患者さんの意思決定支援と退院支援の生活が安心、安全であるよう頑張ります。
田口弘美

4月から配属となりました。患者さん、ご家族とのコミュニケーションを大切に、皆さんが安心して退院できるよう支援をしていきたいと思っております。
藤原美那子